

歯科材料03 義歯床材料
管理医療機器 義歯床用アクリル系レジン（70824000）

ベシス ツインキュア

【警告】

液又は混和物が皮膚に長時間接触しないようにすること。
また、単量体（モノマー蒸気）を吸入しないこと。

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系のモノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本材は粉材及び液材より構成され、JIS T 6501:2012「義歯床用アクリル系レジン」のタイプ1、クラス1及びタイプ3に該当する。本材の成分は以下のとおり。

構成名	成分
粉材	ポリメチルメタクリレート、顔料、その他
液材	メチルメタクリレート、その他

色調（粉材）：④LFピンク、⑥LFα

付属品：ポリエチレンシート（粉材）、スポイト（液材）

【使用目的又は効果】

主に義歯床を作製するために用いる。

【使用方法等】

- ①分離材の塗布：義歯床用分離材（アポロンセップ）を石膏面に均一に塗布する。
- ②人工歯の接着部位の前処理：レジン歯を使用する場合は、人工歯の接着部位にベシス ツインキュア液を塗布する。又は人工歯基底面に維持孔を形成する。
- ③計量・混和・熟成：本品粉末をワックス仮床重量より10%増しに秤量する。標準粉液比は、粉100gに対し液40mlとし、ビニール袋に入れ、気泡が混入しないように粉材と液材を馴染ませ混和する。混合したレジン液は約15分（23℃、初期填入時間）で填入が可能となる。
- ④填入・加圧：室温（1～30℃）まで放冷したフラスコに、餅状化したレジンを手指に触れないようPE（ポリエチレン）シートを用いて石膏型に填入し、PEシートを介して試圧を行うこと。最終加圧はPEシートを除いて行う。填入は約30分（23℃、最終填入時間）までに行う。
- ⑤重合・冷却：重合方法には以下の2通りがあり、どちらか一方を行う。
 - ・マイクロ波発生装置（電子レンジ）による重合
フラスコをマイクロ波発生装置内に入れ、片面のみ500W、3分間加熱し重合させる。
 - ・煮沸重合
フラスコを沸騰水中で15分間浸せきする。
 取り出したフラスコを約30分間室温で放冷した後、完全に冷却してから義歯を掘り出すこと。
- ⑥研磨：研磨は通法に従って行う。
- ⑦保存：重合したレジン液は、口腔内に装着するまで、水中に保存し、残留モノマーを溶出させる。

【型の作製に必要な機器と材料】

- 1) 歯科用フラスコ（マイクロ波重合の場合は樹脂製）
- 2) 歯科用焼石膏、歯科用硬質石膏
- 3) 分離材「アポロンセップ」

【使用上の注意】

1) 使用上の注意

- ①液又は液と粉の混合物は直接手で触れないこと。皮膚に付着した場合は直ちにアルコール綿で拭き取ること。又、万一目に入った場合には大量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。
- ②適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用し、モノマー蒸気を吸入しないこと。

- ③粉材と液材を混和後、長時間放置するとレジンが硬化するので注意すること。
- ④他の床用レジンとの併用は避けること。
- ⑤火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- ⑥高温となる場所（ストーブの側、直射日光が当たる場所など）に放置しないこと。
- ⑦マイクロ波発生装置使用時は、クラスプ、バー等の金属物による気泡の発生、接着不良を起こすことがあるので注意すること。
- ⑧義歯床にヒビなどが生じた場合は使用を中止し申し出るよう患者に説明すること。
- ⑨研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。また、目の保護のため、保護メガネ等を行うこと。
- ⑩破損の原因となるため、手脂、分離材等が人工歯との間に介在しないように注意すること。また、過度の加工は行わないこと。
- ⑪マイクロ波発生装置による重合の場合、クラスプ、バーなどの金属線の切断は丸みをつけ、脚部が1mm以下の場合は開くか、極力ろう着すること。
- ⑫マイクロ波発生装置による重合でピン陶歯を使用の場合、ピンとピンの間を開けること。
- ⑬マイクロ波発生装置による重合でクラスプ、バーなど金属線を含む床を重合する場合は、石こうで埋没し、ガラスコップに水（約180ml）を入れ、FRPフラスコの横に置き、マイクロ波を照射すること。
- ⑭マイクロ波照射によるもち状化の促進は、もち状レジンの厚さによりムラができたり、操作余裕時間が極端に短くなることもあるので、できるだけ通常の方法でもち状化すること。
- ⑮マイクロ波発生装置による重合の場合、フラスコは1個ずつ重合すること。2個以上同時に入れて重合すると加熱条件が変化し、重合ムラの原因になる。
- ⑯煮沸重合の場合、重合後フラスコの冷却は徐々に行うこと。放冷時間が長い程適合精度は良好となる。

2) 重要な基本的注意

- ①本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- ②本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状があらわれた術者は、使用を中止し、医師の診察を受けること。
- ③メタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は、手袋などを用いて直接本材に触れないようにすること。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ・室温（1～30℃）で、火気厳禁の暗所に保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。
- ・使用中、使用後は、開封状態で放置しないこと。
- ・一つの保管庫に、大量に保管しないこと。
- ・使用及び保管場所には消火装置を備えること。

【使用期限】

EXP. XXXX-XX は使用期限 XXXX 年 XX 月を示す。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：山八歯材工業株式会社
電話番号：0533-57-7121
FAX番号：0533-57-1764
e-mail：box@yamahachi-dental.co.jp

製造業者：山八歯材工業株式会社

製造業者：山八歯材工業（常熟）有限公司
製造先国名：中華人民共和国